

（参考）よくある質問

Q1 重度の心身障害者として総務事務センターで認定されており、令和8年度以降も引き続き扶養手当が支給される場合は、被扶養者認定区分が変更となるのか。手続きが必要なのか。

A1 扶養手当が支給される場合は、令和8年度以降も引き続き共済組合の被扶養者「普通認定」として資格が継続されますので、今回、手続きは必要ありません。

Q2 特別認定になった場合どうなるのか。

A2 特別認定の方は、毎年7月に更新手続きが必要となるため、更新対象者には共済組合から所属を通じて案内しています。
今回特別認定となった方には令和9年7月頃に更新手続きを案内する予定です。

Q3 更新手続きとはどのような手続きか。

A3 更新手続きの詳細については、毎年、所属を通じて更新対象者あてにお知らせしておりますので、通知をお待ちください。

【提出書類】

- ・組合員被扶養者特別認定更新手続書（様式 3-13）
- ・申立書（様式 3-3-1）および同居別居届（様式 3-3-2）
- ・前年 1 年間の収入が確認できる書類

※別居の場合は、仕送りの確認書類（銀行の振込証明、現金書留の控え等。手渡しは認められません。）の提出も必要となりますので、書類を保管しておいてください。仕送りの金額は被扶養者の年間収入の2分の1または年間 60 万円の高い方の金額以上が必要です。

※必要に応じて、上記以外の書類提出を求めることがあります。

Q4 特別認定になった場合、既に持っている資格確認書等は使用できるのか。

A4 認定区分が特別認定になった場合でも記号・番号は変わらないため、引き続き現在の資格確認書等を使用いただけます。（記号・番号が変わる場合はご使用いただけません。）

Q5 今回特別認定に区分変更したが、その後、令和8年度以前に遡って扶養手当が廃止となった場合、共済組合の被扶養者資格はどうなるのか。

A5 扶養手当が遡及して廃止となった場合、共済組合の被扶養者資格も遡及して取消となります。資格取消後に当組合の資格で医療機関を受診した場合は、当組合が負担した医療費を全額お返しいただきます。

詳細は、共済組合ホームページ「被扶養者の資格」をご確認ください。

下記 URL または二次元コードから閲覧可能です。

https://kobe-kyosai.jp/?page_id=46

